

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームあいあい

作成日 : 平成 23 年 3 月 31 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	○ チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすために、計画作成担当者と、スタッフの意見、アイデアは反映しているが、本人、家族、必要な関係者との話し合い、現状に即した計画の見直し、地域で暮らし続けていく事の視点が足りない。	介護計画を作成する際は、課題とケアのあり方を、本人、御家族の意見を十分に聴き、現状に即した介護計画を作成する。その際、地域で暮らし続けていくための視点を重視し、本人がより良く暮らせるような介護計画を作成する。	(本人について) : 介護計画作成の際、アセスメントに、本人に、今の暮らしについて要望、不満を必ず聴き、アセスメントに記録する。 (御家族について) : 必要な見直しがあれば、その都度、今までの介護計画と、現在の課題、ケアのあり方を、介護計画会議の前に資料や、電話で報告、意見を求める。 (その他) : 介護計画には、地域で暮らし続けるための事項を必ず作成する。	8ヶ月
2	35 (13)	○ 災害対策 避難訓練が、消防関係者を呼び、事業所のスタッフのみの訓練になっており、年1回しか実施されていない。これまで、火災の想定であったが、地震、津波も考慮した災害対策を行わなければならない。	避難訓練は、年間最低2回は行う。 年に最低1回は、地域住民の協力を得て、避難訓練を行う。 年に最低1回は、事業所スタッフの避難訓練、災害対策時の確認を行い、全職員が、その方法を身につけるようにする。	① 夜間想定 of 避難訓練を6月に行う。その際、地域住民にビラを配り、見学、手伝いを依頼し、次回の住民の協力を得やすくする。 ② 11月までに、地域住民との合同訓練を行う。その際、十分に告知、協力依頼を行い、地域住民参加が、ゼロにならないよう、多くの協力者を呼びかける	8ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。